

愛

四年 13
 筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌
 オン アイ

成り立ち



「愛」は「手」の形です。心は「心ぞう」の形で「心」という意味を表した字です。「足」の形で、「行」という意味を表しています。

「愛」は、「受」(324)の上半分の形で、「物をあたえる」とことを表しています。だから、恋は、「物をあたえる心」で、愛は、「物をあたえる心を感じて行こう」という意味の字です。あい手を心からかわいく思って、自分の物はどんなにだいじな物でもあたえて少しもおしおしいと思わない心を表した字です。

「かわいい」という意味(例愛見)や、「このむ」という意味(例愛用)にもつかわれています。また、「だいじにする」という意味(例自愛)にもつかわれます。

使い方

▽わたしが愛しているものは、たくさんあります。まず第一に、家族です。おとうさんやおかあさん、それに、いもうとを愛しています。それから愛猫のミケ。それから、愛用の品物も、たくさんあります。わたしは、いろいろなものを愛しています。

熟語例

- ▽愛児(愛している、自分の子供。「二歳になる愛児を残して、戦地におもむいた」などというふうには、つかいません。)
- ▽愛猫(かわいがっている猫)
- ▽愛用(好んでつかっていること。「いただいたハンカチを、愛用しています」などというふうには、つかいません。)
- ▽愛読(読んで、その本を読むこと。「いつも、ケストナーの『点子ちゃん』と『アントン』を愛読しています」などというふうには、つかいません。)
- ▽自愛(自分で、自分を大事にすること。病気などないようには、自分を大切にすること。「天候不順のおり、どうかご自愛下さい」などというふうには、手紙などで、つかいません。)

案

四年 10
 筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌
 オン アン

成り立ち



安(324)は「やすらか」という意味の字です。「物を安らかにしておくための『木』で作った物」である「つくえ」を表した字です。

「つくえ」は、物事を「考え」たり「調べ」たり、それを「書いたり」するところなので、「考える」「意見」「調べる」「下書き」などの意味にもつかわれます。例思案、妙案、提案、草案。

使い方

- ▽台風がやって来たので、川ぞいに住む人々は、洪水にならないかと案じていましたが、幸い無事でした。
- ▽二つのケーキを三人で分けることになりました。でも、どうやって分けたら良いのでしょうか。そのうち、とおる君が名案を思いつきました。二つのケーキを三つずつに分けるのです。こうすれば公平だし、二種類のケーキが食べられます。三人で、「名案だ、名案だ」と言いあって、食べました。

熟語例

- ▽名案(良い考え。すばらしい思いつき)
- ▽妙案(すばらしい思いつき。「名案」と、ほぼ同じ意味のことばです。)
- ▽思案(あれこれと考えること。「一日、思案にくれたが、良い考えは思いつかなかった」などというふうには、つかいません。)
- ▽提案(考えを提出すること。「何か、思いついたことがあれば、どしどし提案してください」などというふうには、つかいません。)
- ▽草案(文章の下書き)